

「福井全研ニュース第2号」

「ぼ〜れ ぼ〜れ 12月号」福井県版特別号

発行日 平成29年12月25日
編集・発行 公益社団法人認知症の人と家族の会福井県支部
事務局 910-0017 福井市文京2-9-1 嶺北認知症疾患医療センター
TEL: 0776-28-2929 FAX: 0776-63-6756
E-mail monowasure@fmatsubara.com



故郷の風景No19 「冬の足音」

「カニ観10年、カニ炊き一生」

カニ職人は、カニの大きさや状態に合わせて塩加減、ゆで時間を細かく変えて越前かにの美味しさを最大限に引き出すため細部にまでこだわり抜いている。



11月6日午前0時、福井の冬の味覚『越前かに』の漁が解禁され、県内の漁船は一齐に日本海に出航した。三国漁港では同日午後18時から初競りが行われ、威勢いい声が響いた。

『越前かに』は福井県沖でのみ水揚げされ、オスのカニには黄色のタグが付けられる。

さらに、いくつかの厳しい基準を満たす、特に素晴らしい幻のオスのカニは『極(きわみ)』と呼ばれ、今年は46万円の値段がついた。

越前かに漁が解禁すると福井の冬も本格的にやってきます。おいしいものを食べ、新しい年への活力をつけたいものですね。

(福井県版 2017.11月号より)

「身の引き締まる思いで・・・ **全研プログラムづくり**」

ヨーロッパ出張から閑空に、その足で会場へ駆けつけた松原代表が徳島全研最後のプログラム「次期開催県代表の挨拶」。

県内からの参加者一同、身の引き締まる思いでした。(写真右)

松原代表は「福井全研は10月28日。越前がにの解禁は11月6日。皆さんに越前がにを賞味していただけないのが残念です」と締めくくられました。そんなこともあり全研ニュース第2号のトップ画面は「越前がに」にしました。ゆっくりとご賞味ください。



現在、福井全研に向けて7月の本部理事会で承認された全研集会のテーマ等を具現化させるためのプログラムづくりの最後の「詰め」をしているところです。

本部理事会に提案し承認され次第皆様にお知らせをします。

全国の皆様と話し合いたいこと考え合いたいこと

私たちが目指すもの
認知症の人も介護する人も
人としての尊厳が守られ夢と希望のある生活

研究集会テーマ

**「紡ぐ」地域力を活かし
本人と家族が主役の地域づくり**



福井全研のキーワード

県民全体で支える市民運動 夢と希望
2025問題 理解と支援 地域力
孤立感・不安感 偏見や差別の解消
認知症サポーター 学校教育 介護独楽
吟 福井県らしさ 全員参加等々

「たて糸」「よこ糸」となり
美しい布を!

福井全研キーワードに関する情報

キーワード「偏見や差別」

障害者に
「育児能力ない」「生まれたら困窮」
不妊強制 偏見の記録
半世紀前の公文書80件
本人の同意なく

衝撃的なタイトルの記事(12月17日 朝日新聞)を読みました。このような理不尽なことが、遠い昔のことではなく1992年まで行われていたとのこと。愕然としました。

弱者に対する偏見や差別を改めてみんなで考え合いたいと思いました。

他紙でも報道されているのではないかと思います。是非読んでいただきたいと思います。

キーワード「理解と支援」他

図書館に「認知症コーナー」を!

世話人会(12月9日 松原病院)でこのような提案がありぜひ図書館の理解を得て設置してもらいたい、そして、その「はたらきかけ」を行うことについて共通理解をしました。

福井県の図書館利用率は全国トップクラスであり認知症の本を図書館の目の付くところにおいてもらい多くの人に認知症の本を読んでもらい認知症に対する理解と支援の輪を広げたいという狙いです。

常設設置が一番ありがたいですが、アルツハイマー月間や福井全研開催の10月中には是非ともという意見もありました。

キーワード「夢と希望」「福井県らしさ」「介護独楽吟」

故郷の風景No14「橘曙寛独楽吟の世界」



たのしみはまれに魚煮て児等皆が
うましうましといひて食ふ時

介護独楽吟発表会大成功!!

4月の国際会議福井県支部ポスターで「介護に
苦しみ、悩む日々の生活の中にも楽しみを見い出
したい」という願いをアピールしました。

この願いは、極貧の家庭生活を嘆くのではな
く、その中にも楽しみを見い出した橘曙寛の生き
方から学んだものです。

12月の一泊研修バス旅行往路の車中で参加
者全員が介護独楽吟を作り、復路の車中で発表会
をしたところ大成功で大いに盛り上がりました。

介護独楽吟大募集!!

12月9日の世話人会で福井全研で掲示する
各支部のポスターは各支部数首の「介護独楽
吟」をお願いすることを決定しました。

後日、各支部へポスター作製要項をお届けしま
すのでご理解とご協力をお願いします。

ポスターは7月中に作成してもらい全研当日
だけでなく8月頃から福井市内の公共施設等に
展示してもらい、認知症の人と家族に対する理解
と福井全研参加を求めたいと考えています。

介護独楽吟

たのしみは袋を持ちて手をつなぎ

ゴミ捨てかねて散歩するとき

妻の介護 八十年代男性

たのしみは寝たきり女房の手を握り

冗談言って笑うをみるとき

妻の介護十五年 七十年代男性

たのしみはあなたをティに送り出し

一人静かに録画みるとき

在宅介護者 六十代男性

たのしみは養成講座の子どもの

キラキラ輝く瞳見るとき

キャラバンメイト 五十代男性

たのしみは同じ思いの人たちと

世代を超えて語り合うとき

介護専門職 四十代女性

一泊交流研修旅行中に研修の一環として

作ってもらった介護独楽吟です。

今後、順不同で福井県版、全研ニュースで
紹介させていただきます。